

# 令和7年度学校訪問実績(7月～9月)

No.	実施日	聴取テーマ	課室名	聴取対象	参加状況
1	7月9日	公共交通機関の利用について	リニア・地域交通課	県立桜井高校	9人
2	7月11日	男女共同参画社会、こどもまんなか未来戦略について	こども・女性課	奈良県立大学	約100人
3	9月9日	観光産業の担い手育成について	観光戦略課	県立商業高校	2人

実施日:令和7年7月9日(水)

テーマ:通学時等における公共交通機関の利用について  
(リニア・地域交通課)

対象:奈良県立桜井高等学校 生徒会9人



## 質問

バスや電車をもっと便利にするために、どのようなことを改善する必要があるか

### 学生からの意見(抜粋)

- ・バスや電車の本数を増やしてほしい。
- ・今どこにバスがいるか分かるシステムがあるといい。

行政がバス路線に支援をしていることについてどう思うか

- ・行政がバス路線に多額の支援をしていることは知らなかった。支援している路線には利用が少ない路線もあるとのことなので、ニーズを丁寧に把握して、適切に支援してほしい。

地域主体の持続可能な取組『ノッカルおくうだ』についてどう思うか

- ・電車やバスは大人数で乗るのに対し、このシステムは1対1になるので心配。
- ・知らないドライバーでも、「同じ地域にこんな人がいるんだ」と知れるきっかけになると思う。

実施日:令和7年7月11日(金)

テーマ:男女共同参画社会、こどもまんなか未来戦略について  
(こども・女性課)

対象:奈良県立大学 学生約100人



### 質問(抜粋)

様々な場面に残る性別に関する固定概念を解消するにはどうすればよいと思うか



### 学生からの意見(抜粋)

- ・義務教育の間に、授業として、ジェンダーについて学ぶ機会を与えるといいのではないか
- ・社長など上の立場の人が意識的に改革を行っていく

こどもまんなか未来戦略の数値目標のひとつである「こども政策に関して自身の意見が聴いてもらえている」と思う人の割合を高めていくためには、どのような取組が必要だと思うか



- ・こども政策に関心の低いこども・若者の意見も聴けるよう、学校や企業といった組織単位で意見聴取を行う

実施日：令和7年9月9日(火)

テーマ：観光産業の担い手育成について（観光戦略課）

対象：奈良県立商業高校 経営ビジネス科2人



### 質問

将来、奈良県以外に住もうと考えているか  
その理由は



### 学生からの意見(抜粋)

#### 【県外に住みたい】

- ・将来やりたいことが決まっているため、大阪に住みたい

#### 【県内に住みたい】

- ・交通アクセスがよく、遊びに行きやすいから
- ・田舎過ぎず都会過ぎず、自然が多く感じられるから

どんな観光要素があれば県外の方から奈良に行きたい、住みたいと思われるか  
自身が観光に行くときどんな要素で観光地を決めるとか



・色んなお店が集まっているところで、自然を楽しみながら食べ歩きしたい

・奈良県の特産品を使った食を増やす

・奈良県の自然と融合した旅館でゆっくりしたい。例えば、鹿のスペシャルルームをホテルに作ってみる